

## 4. 産業医科大学若松病院からの新任挨拶



循環器内科・腎臓内科  
長谷川 恵 美

### 助教 新任挨拶

2018年6月より助教を拝命致しました。私には大変身に余るお話ではありましたが、今まで私を根気強く御指導くださいました学内・学外の諸先輩方に深く感謝するとともに、今まで頂いた御指導を少しでも若い先生方に伝えることができればという思いもあり、お引き受けすることと致しました。しかしながら私もまだまだ勉強中の身であります。今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 循環器内科・腎臓内科診療科長、臨床工学部部長 新任挨拶

2018年6月より慣れ親しんだ産業医科大学病院から産業医科大学若松病院に異動になり、まずは病棟医長を、同年10月からは同院循環器内科・腎臓内科の診療科長、臨床工学部部長を拝命致しました。

お話を頂いたときは非常にびっくりし、他に適任者がいるのではないかと、今までの素晴らしい先生方の後任が果たして自分に務まるのかとも考えましたが、色々考えるのは性に合わない、とにかく目の前の課題を一つ一つ真摯にこなしていただけたらと思っておし、謹んでお受けすることに致しました。

実際の異動後は前任の中俣潤一先生に丁寧に指導して頂きながら少しずつ仕事を引き継ぎ、2018年10月からは若松病院、本院を問わず、第2内科の多くの先生方に助けをもらいながらなんとか毎日を乗り切っています。本当に皆様のご協力とご助力があったことだと思っております。いつもありがとうございます。

若松病院循環器内科・腎臓内科の発展に貢献し、今まで先輩方に受けた御指導や御恩を後輩の先生に引き継ぎ、還元して行けるよう、これからも日々精進したいと思います。今後とも、御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



循環器内科・腎臓内科  
助教 清水 昭 良

2018年7月より檜山先生の後任ということで産業医科大学若松病院へ着任いたしました清水昭良と申します。若松病院では平成27年に6ヶ月間ほど主に病棟業務をさせて頂きましたが、その後はカテテルグループの大学院生として本院で主に心臓カテテル検査・治療および病棟業務に従事していました。今回、論文作成に目途がたったこともあり、約3年ぶりに若松病院での診療に携わる機会を得ることになりました。若松病院では外来医長を拝命したこともあり、日々外来業務に勤しんでおります。外来では慢性期の心不全管理に携わ

---

ることが多いため、リハビリスタッフさんとも密に連携を図りながら心臓リハビリテーションに力を入れています。また、心不全管理には塩分制限が非常に大切ですが、若松病院の食事は患者さんにも好評で、栄養管理の重要性についても良好な理解を頂いているという実感があります。私も当直の際に検食を頂きますが、一度も残したことはありません。その他、当院では睡眠時無呼吸症候群の検査入院・外来管理を行っております。引き続き若松地区の先生方とも連携を図り、地域に根ざした診療に貢献できればと考えております。

私自身は今年大学院卒業のため学位審査がありますが、臨床業務がおろそかにならないよう身を締め、患者さんと向き合い、日々の診療に努めていく所存です。今後ともよろしくご厚意申し上げます。



循環器内科・腎臓内科  
講師 村岡 秀 崇

2018年11月1日より産業医科大学若松病院に着任しました村岡秀崇です。これまでは2014年4月から4年半に渡り産業医科大学第2内科学の学内講師を勤めて参りましたが、11月より若松病院に勤務することになりました。実は、一度勤務したいと思っておりましたので、医局長の津田有輝先生がお取り計らい下さり、感謝致します。私は講師の立場ですが、急遽の赴任でしたので、診療科長は長谷川恵美先生が引き続き務めていました。外来医長の清水昭良先生と腎臓内科の邨月玲先生と循環器内科の早川裕紀先生の5人体制で外来・病棟業務を開始しました。

久しぶりに新しい職場に勤務したことで良い意味で緊張感がありました。外来と病棟業務を担当し（大半はサポート業務でしたが）、12年振りに他院への救急車で緊急搬送にも携わりました。これまでは心カテ業務が主な仕事でしたが、若松病院ではそれがなく、心エコーや心臓リハビリ、睡眠時無呼吸などの業務に携わる機会がありました。心エコーを自分で行い、レポートまで作成するのは12年振りであり、花村静香（大）先生のご指導の下、振り返りや新たな発見があり楽しませていただきました。若松病院は検食と食堂の御飯がおいしいと噂に聞いており、「確かに！」と感じた次第です。当直の時は毎回検食で良かったぐらいです。食堂の定食はおいしいですが、ハイカロリーでありカロリーオーバーが懸念される所でした（相棒の早川先生は早々に離脱していました…）。津田先生ご指導の下、若松病院周辺のコアな飲み会も楽しませていただきました。

若松病院循環器内科・腎臓内科は現在透析療法が中心となり、右肩上がりに発展しています。循環器内科としては侵襲的な手技が十分にできないこともあり難しい立ち位置ではありますが、両科が力を合わせて盛り上げていければと思います。本院と密な連携を取りながら頑張っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくご厚意致します。